カトリック河原町教会だより
2016年6月

東山将軍塚で「都の聖母」奉賛ミサ ～京都キリシタン研究会主催～

「都の聖母」は、フランスのレオン・ロバン神父（1802～1882）が、日本の禁教下の迫害を知り鋳像させたもので、ピオ9世教皇に祝別され1866年に横浜に着きました。目的地京都には1873年に届き、ロバン神父の手紙通り、都を見下ろす丘に埋められていました。その後、フランス語教師として来日したヴィリオン神父によって、1879年に掘り出されたものです。

晴天に恵まれた5月8日午後2時から、「都の聖母」奉賛ミサが、一場神父の司式により東山将軍塚で行われました。教区の各地から約50名が集い、かつて殉教者の歴史を知った海外の人たちが、日本の福音宣教のために祈ってくれたことに思いを馳せ、祈りをささげました。

6月「イエスのみ心」の月に

洛東ブロック担当　ホセ・モンロイ神父

6月は「イエスのみ心の月」です。特に今年の6月は、「いつくしみの特別聖年」にあたり、わたしたちが人生において本当に幸せになれるように、イエスが特別な恵みを豊かに注いでくださっていることを思い起こしたいと思います。

「イエスのみ心」への信心の始まりは1675年6月16日のことです。聖堂で祈っていた修道女、聖マルガリタ・マリア・アラコクにイエスが現れ、ご自分の心臓を指して「これほどまでに人々を愛するこの心を見よ。しかし、多くの人々はこの愛に対して冷淡で、受けた恵みを忘れています」と言われました。そしてイエスは、すべての人に「イエスのみ心」の信心を広めるようマルガリタに告げられました。

イエスのみ心への信心は、時代遅れというものではなく、聖書に基づいています。受肉の神秘について言えば、聖書によってイエスが真の神、真の人間であることを知らされています。それゆえ「イエスのみ心」は「父である神のみ心」なのです。

わたしたちのこの世界が福音の教えから離れ、聖書の教えから離れてしまうと、大きな間違いの中で罪に陥ります。この時代は欺瞞に満ち、多くの人は真の神を見失い、自分の力を望み、利己的な喜びを求めています。そして、お金という偽りの偶像を崇拝し、宗教を拒絶してはいないでしょうか。

罪はわたしたちをイエスから離れさせ、それは彼を悲しませることです。イエスは誰もが天の国に入ることを望んでおられ、わたしたちは自分の業によってイエスに愛を示すことができます。まさにこれが「イエスのみ心」への献身です。

マルガリタを通して、イエスは神のいつくしみと幸福を約束されました。イエスを愛すること、より多くの献身をすること、イエスのみ心に沿う行いをすることを心がけるならば、わたしたちはこの約束のうちに生きることができるのです。

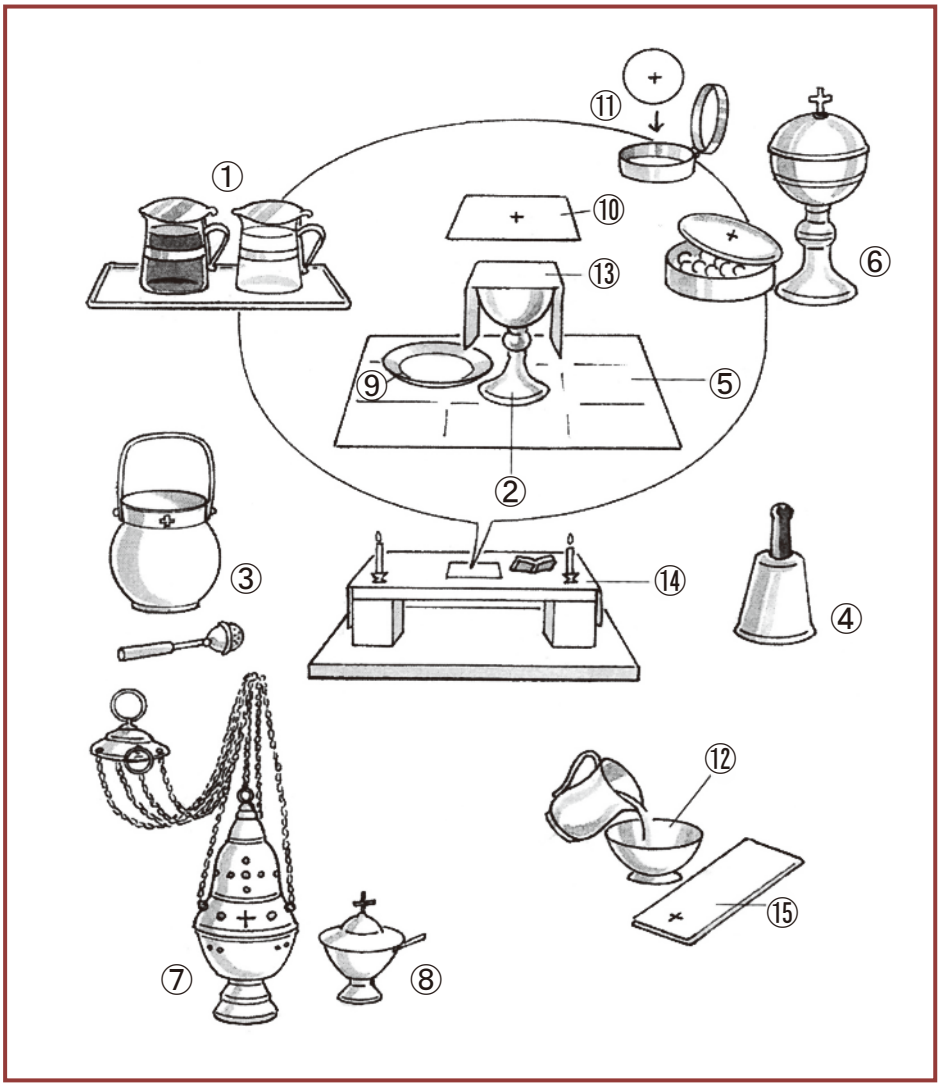
この6月、日々の生活の中でイエスをより愛するよう、心を傾けてください。イエスのみ心は、愛だけに存在します。より多く聖書を読みましょう。そうすれば、イエスの人生は、わたしたちのための愛の生活であったことを発見し、イエスをより深く知ることができます。そして、イエスを知れば知るほどわたしたちは、ますますイエスを愛する者となれるでしょう。

＊聖マルガリタ・マリア・アラコク（1647～1690）/1920年列聖

もっと知りたい典礼あれこれ　ミサと祭器　“主の食卓に招かれた者は幸い”

初代教会のキリスト者たちは、主が復活された週の初めの日を「主の日」と呼んで大切にし、パンを裂くために集まるようになりました（使徒言行録20・7）。その呼び集められた共同体が教会（エクレシア）です。教会は2000年間ずっと、主の日に集まって感謝の祭儀（ミサ）をささげ、「ことばの食卓」と「いのちのパンの食卓」という二つの食卓における復活した主との出会いを大切にしてきました。

祭壇には、必ず祭壇布とコルポラーレ、十字架とろうそくが備えられます。祭器の中で特に大切なのはカリスとパテナです。　参考：『典礼奉仕への招き』オリエンス宗教研究所編



ミサで使われる主な祭器には以下のようなものがあり、名称の多くはラテン語です。

① **ぶどう酒、水を入れる容器**
② **カリス**（聖別されるぶどう酒をいれる杯）
③ **灌水器**（祝福された聖水を入れる聖水器と聖水を振りかける灌水棒からなる）
④ **鐘**（聖別の前やパンとカリスが会衆に示される時に鳴らす小鐘）
⑤ **コルポラーレ**（聖体布。カリスやパテナの下に敷く、十字架のしるしのある四角い白い麻布）
⑥ **ピクシス**（聖体容器。聖体を保存するための容器）
⑦ **香炉**（炭を入れ、香を焚く）
⑧ **舟**（香入れ）
⑨ **パテナ**（聖体皿）
⑩ **パラ**（カリスのほこりよけの四角い覆い）
⑪ **テカ**（聖体の小型容器。病人などに聖体を運ぶために用いる）
⑫ **司祭の手洗い用小鉢**
⑬ **プリフィカトリウム**（清浄布。カリスやパテナを拭くために用いる白い麻布）
⑭ **祭壇布**（祭壇を覆う厚手の白い布）
⑮ **マヌテルジウム**（司祭が手を洗った後に拭くための布）

聖ひつと聖体ランプ

「教会は、聖別されたホスチアを細心の注意を払って保存し、病人やミサにあずかることができない人々に運び、信者の厳かな礼拝のために顕示し、行列をしながら運び、聖ひつのうちに安置された至聖なる秘跡を頻繁に訪問し礼拝するよう招いています」

引用：『カトリック教会のカテキズム要約』286

†「聖ひつの近くには、特別なランプがたえずともされていなければならない。これによって、キリストの現存が示され、たたえられる」

引用：『ローマ・ミサ典礼書の総則』316

京都南部地区合同堅信式が行われました 5.15

5月15日「聖霊降臨の主日」午後2時から、河原町教会聖堂で南部地区合同堅信式が行われ、42名が堅信の秘跡を受けました。河原町教会からの受堅者は5名（中学1年生）でした。

大塚司教はミサの中で、「聖霊のシンボルは『風』（神の息吹）であり、『燃える火』（罪を焼き尽くすもの・心を暖めるもの）です。聖霊は慰め主・助け主・聖化するもの・敵から守るもの・神のそばに連れて行くもの、すなわち『弁護者（パラクレートス）』です。皆さんの人生のいろんな場面で働かれるときがたくさんあります。聖霊に、神と人への愛を強めていただき、周りの人、特に弱い立場の人の助けとなり『キリストの弟子』として生きる恵みを祈りましょう」と語られました。（編集委員）

受堅者の皆さん
おめでとう
ございます

洛東ブロック長期計画

（2016年４月1日～2021年３月31日）

「洛東ブロックは、2026年の京都南部地区小教区統合を見据え、2016年４月からの５年間各小教区固有の歩みを尊重しながら、ブロック共同体づくりを進めていく。」

そのために

1.ブロック全体に開かれた分かち合いの場を設け、小教区間のつながりを深めていく。
2.各小教区特有の学び、祈り、活動（地域との交わり、国際協力など）、交流行事をブロック共同体の福音宣教活動として共有する。
3.ブロック内小教区の多様性を活かしながら、ブロック全体として取り組める福音宣教の可能性を模索する。

河原町教会5月評議会議事録要約

2016年5月1日（日）

司祭団の報告＝①ミサ前に「一粒会の召命祈願の祈り」を唱えることを提案する。②2017/5/14(日)14:30「細川ガラシャ音楽劇」開催のため聖堂使用承認をお願いしたい。③洛東ブロック長期計画、年間計画は徐々に進展している。身近なことから取り組みましょう。

ブロック会議＝①山科教会の聖母会と共に、子どもたちと高齢者訪問を計画中②各教会で「いつくしみの特別聖年」巡礼が計画されている。③桃山教会では第3主日14:00からスペイン語のミサをささげている。④「いつくしみの特別聖年大勅書」読書会を各教会で計画

各部会報告＝⑴**典礼部**＝①聖堂案内係を募集中②今年度典礼研修会案内を関係者に配布③聖歌隊が第2・4主日ミサ前に「特別聖年公式賛歌」の合唱をする。⑵**財務部**＝教会維持費納入状況の報告。納入協力の方策を検討する必要がある。⑶**教育部**＝❶土曜学校：①堅信予定対象者4名の勉強会を3/29と4/2に実施 ②新学期4/9から ③5/21福知山教会へ（巡礼）遠足予定 ❷中高生会：4/17から授業開始。テキストは『聖書のシンボル50』 ❸エリの集い：6/4総会開催予定 ❹信徒養成：「主日の福音をあじわう」集いを7月から実施予定 ❺ザビエル訪れ会：4月からミサ不参加高齢信徒の訪問開始 ❻キリシタン研究会：4/22三重セントジョセフ女学院の教会見学に対応 ⑷**施設管理部**＝5/29教会美化デーの詳細を検討 ⑸**広報部**＝教会案内リーフレット5,000部増刷完了

行事予定＝4ページ行事予定欄に記載

協議事項＝⑴南部地区合同堅信式について：受付、パーテイー準備をぶどうの会に依頼 ⑵「いつくしみの特別聖年」公布の大勅書読書会について：①5/27から開始予定②大勅書冊子を100円で販売する。⑶平和旬間について：朗読劇の提案が出され、企画進行中⑷新聖堂建立50周年記念行事について：①2017/6/17明治村で「50周年記念ミサ」予約完了②2017/3/19マタイ受難曲コンサートを開催予定

その他＝教会の5箇所に防犯カメラが設置された。

2016 年度 集会司式者

越知 謙之助　辻井 芳一　宮川 督三

聖体授与の臨時の奉仕者

東 文恵	稲本 俊	Sr.大庭 早苗
岡田 久美	岡田 亨	Sr.河瀬 須恵
駒井 茂一	小森 百合	Sr.庄子 早苗
嶋﨑 晴信	高谷 房子	Sr.中里 郁子

（50音順／敬称略）

◇　2016 年 6 月・7 月の行事予定　◇
（7月は予定です。変更の場合があります）

月	日	曜日	行　事　予　定
6	3	金	イエスのみ心
	5	日	評議会6月例会　10:30ミサ後
	11	土	「いつくしみの特別聖年」行事・福知山教会巡礼バスツアー
	24	金	洗礼者聖ヨハネの誕生
	26	日	大塚司教〈パウロ〉霊名のお祝い　10:30ミサ　聖ペトロ使徒座への献金
	29	水	聖ペトロ　聖パウロ使徒
7	3	日	キム神父〈ペトロ〉霊名のお祝い　10:30ミサ 評議会7月例会　10:30 ミサ後
	23	土	洛東ブロック会議（於：河原町教会）　14:00
	31	日	評議会8月例会　10:30 ミサ後 教会美化デー

河原町教会　ミサの時間

日曜日（主日のミサ）
7:00
10:30
＊英語ミサ 12:00（第2・4週）

月曜日	6:30	
火曜日	6:30	18:30
水曜日	6:30	18:30
木曜日	6:30	
金曜日	6:30	18:30
土曜日	6:30	
	18:30（主日のミサ）	

「いつくしみの特別聖年」にあたり
教皇フランシスコ大勅書を一緒に読みましょう

月曜日の集い　14:00～15:30　（いずれも1F集会室）
① 6月13日　② 6月27日　③ 7月11日
④ 7月25日　⑤ 8月 8日　⑥ 8月29日

金曜日（午前）の集い　10:30～12:00
① 5月27日　② 6月24日　③ 7月22日
④ 8月26日　⑤ 9月23日　⑥ 10月28日

金曜日（午後）の集い　14:00～15:30
① 6月17日　② 7月 1日　③ 7月15日
④ 7月29日　⑤ 8月26日　⑥ 9月 2日

◆各集いとも6回で終了です。ご都合に合わせてご参加ください。
回数ごとに同じペースで読みますので、別のコースにも参加できます。

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇
（1F集会室 /3F応接室）
火曜日10:00（第4・5・祝休）モンロイ神父(1F)
水曜日10:00　一場 修 神父(1F)
19:00（第1・祝休）　一場 修 神父(1F)
木曜日15:00（祝休）　一場 修 神父(1F・3F)
金曜日15:00　シスター庄子(3F)
19:15　村上 透磨 神父(1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇
【河原町教会】第1水曜日19:00～20:00 一場神父
【山科教会】毎金曜日9:30ミサ後　モンロイ神父
【伏見教会】毎火曜日10:00ミサ後～11:30　一場神父
【桃山教会】第1・2木曜日19:30～20:30　一場神父

◇南部地区信徒養成講座◇
（1F集会室）
北村 善朗神父「祈りを学ぶ」
6月 9日(木) 14:00
7月14日(木) 14:00
テキスト：『カトリック教会のカテキズム要約』

◇レクチオ・ディヴィナ◇
（都の聖母小聖堂）
毎月・第3火曜日　10:30
※福音の分かち合いです。
どなたでもどうぞ。

◆教会聖堂聖壇の清掃にご協力を
毎週金曜日10時から、有志による聖堂祭壇のお掃除を行っています。約40分程度の奉仕です。ご都合に合わせて皆さまのご協力をよろしくお願いします。

◆未使用の切手をお寄せください
広報部では、毎月発行の「教会だより」を教区内小教区や、ミサに参加することが難しい方々に郵送しています。ご家庭に眠っている未使用の切手がありましたら、事務室までお寄せください。

カトリック河原町教会だより　2016.6
編　集：カトリック河原町教会 広報部　　担当司祭：一場 修
住　所：〒604-8006　京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423
電　話：075-231-4785　ファックス：075-211-8021
URL：http://CatholicKawaramachi.Kyoto
教会公式ウェブサイト　教会公式フェイスブック